

令和4年度 第4回富里市教育委員会定例会議 会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 令和4年6月30日(木)
開会 午後2時
閉会 午後4時15分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 教 育 長 吉 野 光 好
教育長職務代理者 會 田 直 子
委 員 田 口 明
委 員 川 口 泰 弘
委 員 内 田 和 子
- 4 出席職員 教 育 部 長 金 杉 章 子
教 育 総 務 課 長 中 川 幸 雄
参事兼学校教育課長 鳥 海 雅 弘
学校給食センター所長 伊 藤 健 一
生涯学習課長 飯 田 之 義
図 書 館 長 越 川 義 幸
- 5 事務局職員 教 育 総 務 課 大 木 達 也
教 育 総 務 課 安 藤 裕美子

令和4年7月26日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

本日の会議には、玉川大学特任教授の笹井様にオブザーバーとして出席していただきますので、よろしくお願いします。

1 開会宣言

【教育長】ただいまから、令和4年度第4回富里市教育委員会定例会議を開会いたします。

本日の会議は、専決処分の報告1件、議案8件、協議事項1件、報告事項5件、その他の内容となります。

なお、議案第3号から議案第7号までにつきましては、富里市教育委員会会議規則第10条第1項第1号の規定、任免に関する事項、議案第8条につきましては、会議を公開することにより教育行政の公正または円滑な運営に著しい支障を生ずるおそれのある事項となりますので、非公開としたいと思います。

御異議ございますでしょうか。

(異議ない旨の声あり)

【教育長】異議ないものと認め、議案第3号から議案第8号までについては、非公開とすることとします。

なお、そのほかの案件については、公開することとなりますので、よろしくお願いします。

2 前回会議録の承認

令和4年度第3回定例会議会議録承認

(署名人：吉野教育長、田口委員)

3 教育長職務報告

【教育長】次に、教育長報告を行います。

(資料1ページ、2ページに沿って説明)

4 教育委員報告

【教育長】次に、教育委員報告に移ります。何かございましたらお願いいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】特にないので、教育委員報告を終わります。

5 専決処分の報告

【教育長】次に、専決処分の報告に移ります。報告第1号、行事の後援について、事務局の説明を求めます。

【参事兼学校教育課長】（資料3ページに沿って説明）

【教育長】説明が終わりました。質疑がございましたらお願いします。

（ない旨の声あり）

【教育長】特にないようですので、報告第1号を終わります。

6 議案

【教育長】次に、議案第1号、教育振興基本計画の改訂について、事務局の説明を求めます。

【教育総務課長】それでは、教育振興基本計画の改訂について、御説明をさせていただきます。資料は4ページから7ページになります。まず4ページをお願いいたします。教育振興基本計画の改訂について、議決を求めるものでございます。提案理由につきましては、5ページをお願いいたします。提案理由の説明につきまして、読み上げさせていただきます。本案は、令和4年3月に策定された「富里市の教育に関する大綱」と整合性を図り、市長部局と連携をとりながら教育施策を実行するため、富里市教育振興基本計画（第2期計画）を改訂することについて、教育委員会の議決を求めるものでございます。委員の皆様には、令和4年の3月から長期にわたり、本計画につきまして、御協議いただきましてありがとうございました。4月の定例会議以降、いただいた御意見により修正した内容につきましては、お手元の資料A3版の片袖折りとなっております6ページから7ページにかけまして、一覧としてお示しさせていただいております。令和4年6月7日から6月27日までパブリックコメントを実施させていただきましたが、意見の提出はございませんでした。つきましては、別冊でお示ししております富里市教育振興基本計画を改訂することにつきまして、よろしく御審議くださるようお願いいたします。事務局からは、以上でございます。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑などがございましたらお願いします。

（ない旨の声あり）

【教育長】特にないようですので、採決に移ります。議案第1号について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

【教育長】異議ないものと認め、議案第1号は、原案のとおり可決することとします。

次に、議案第2号、令和4年度とみさと教育プランの策定について、事務局の説明を求めます。

【教育総務課長】 それでは、令和4年度とみさと教育プランの策定について、御説明をさせていただきます。資料の8ページをお願いいたします。富里市教育委員会行政組織規則第8条第1項の規定により、令和4年度とみさと教育プランの策定について、議決を求めるものでございます。資料9ページをお願いいたします。提案理由でございます。本案は、先ほど議決をいただきました富里市教育振興基本計画の達成に向けて、各施策を具体的に示した令和4年度とみさと教育プランの策定に当たり、富里市教育委員会行政組織規則第8条第1項の規定により、教育委員会の議決を求めるものでございます。こちらのとみさと教育プランにつきましても委員の皆様には、令和4年の2月、3月また5月の定例会議において、御協議をいただいたところでございます。長期にわたりありがとうございました。前回の5月の定例会議以降、文言の修正を加えた内容につきましては、資料の10ページ、11ページ、A3版の片袖折りになりますが、こちらが御意見をいただいたものについて、修正を加えた一覧でございます。つきましては、別添でお示ししております令和4年度とみさと教育プランの策定について、教育委員会の議決をお願いするものでございます。事務局からは以上でございます。

【教育長】 事務局の説明が終わりました。質疑などがございましたらお願いいたします。

【委員】 令和4年度とみさと教育プラン（案）の資料の31ページ、青少年相談員活動の推進についてですが、従来から行ってきた「少年少女綱引き・ドッジボール大会等に加え、新たな視点の事業実施も検討する。」とありますが、それについてどのようなものを検討しているのでしょうか。それにつきまして、東京ウォークやにんじんウォークを前はやっていたと思うのですが、そういうものが段々無くなってしまっているようなので、それに代わるようなものは、考えているのでしょうか。それをお聞きしたいと思います。

【生涯学習課長】 青少年相談員に関わる質疑でございますので、生涯学習課からお答えをさせていただきます。青少年相談員の活動につきましては、令和4年4月から新たに3年の任期で青少年相談員の皆様が入れ替わったところでございます。今後、このコロナ禍の中でこういった活動ができるのかというところをしっかりと協議をしてみたいと思います。これまでの事業を継続的にやっていくのか、あるいは、それを見直した中で新たな事業をやっていくのかというところもございまして、その点を見極

めた上で、今後しっかりとやっていきたいと考えているところでございます。以上でございます。

【委員】何かしらの、代用のものが必要だと思います。

【教育長】先ほど、報告の中でも少しお話させていただきましたが、県の教育長からは、様々な学校教育活動の再開、緩和をとということでございます。今後、徐々にいろいろな行事を少しずつでも前に進めていきたいと考えております。先程、生涯学習課長からも話がありましたが、このコロナ禍の中で何ができるのかというところをしっかりと青少年相談員と協議してまいりたいと考えております。

そのほかに、質疑などございましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】ほかにはないので、採決に移ります。議案第2号について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【教育長】異議ないものと認め、議案第2号は、原案のとおり可決することとします。

【教育長】次に、議案第3号から議案第8号までは非公開となりますので、協議事項に移ります。

7 協議事項

【教育長】協議事項1、富里市教育委員会点検及び評価（令和4年3月末時点）について、事務局の説明を求めます。

【教育総務課長】それでは、協議事項の富里市教育委員会点検及び評価（令和4年3月末時点）について、御説明をさせていただきます。資料は、28ページになります。このほかに別冊で富里市教育委員会点検及び評価（令和4年3月末時点）、こちらを別添とさせていただいておりますので、併せてよろしくお願いいたします。御説明につきましては、別冊の資料1ページをお願いいたします。教育委員会の点検及び評価につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年、自己評価を行うものでございます。また、教育に関し学識を有する外部評価者の方から御意見、御助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、継続して効果的な教育行政の推進に努めるものでございます。お手元の協議資料は、とみさと教育プランに位置付けられた基本目標を実現するための施策・事業について、達成指標、達成度、課題・改善点を明らかにし、各課等において、自己評価を行った報告書の

案でございます。本日は、委員の皆様から御意見をうかがい、内容に反映したあとに、外部評価として本日会議に御参加をいただいております玉川大学の笹井先生に講評を依頼させていただきます。外部評価者の講評を付しました報告書は、8月の教育委員会定例会議で議案とさせていただき、議決をいただきましたのちに、点検及び評価の結果に関する報告書を市議会に提出するとともに公表を行うものでございます。

それでは、主な事業につきまして、各課等の長から御説明をさせていただきます。まず初めに教育総務課が所掌する主な事業について、御説明をさせていただきます。別冊資料の26ページをお願いいたします。26ページの下段、分類の46、事業名はトイレの洋式化でございます。こちらにつきましては、御案内のとおり、地方創生臨時交付金を活用し、小・中学校の和式トイレ120箇所を洋式トイレに改修し、児童・生徒の衛生環境の向上を図りました。児童・生徒数に応じた改修工事が完了したことから総合評価をAとさせていただきます。達成度につきましては、御覧のとおりでございます。今後については、学校のトイレに関する課題が数ある中でも特に老朽化した既設排水管の漏水や詰まり、そういったものをしっかりと見極めながら、計画的な改修をしていく必要があるというように承知をしております。教育総務課からは、以上でございます。

【参事兼学校教育課長】 学校教育課に係る項目の点検及び評価につきまして、主なものを御説明させていただきます。資料の4ページ、1番を御覧ください。学力向上に向けた取組につきまして、小・中学校ともに学力検査実施教科の全てにおいて、富里市としての目標は上回りましたが、県平均には及びませんでしたので、評価をこれまでと同様のBといたしました。学力向上に向けましては、授業改善に重点を置くとともに「とみの国」検定や試写、音読、100マス計算などに取り組み、基礎学力の底上げを図りながら学力向上に取り組んでまいります。14ページの22番をお願いいたします。ICTに係る教員の指導力向上に向けた取組につきましては、新規の項目となりますが、小・中学校の全教職員を対象に研修会を実施し、ICTを活用した授業力や指導力の向上を図るものでございます。児童・生徒一人一台端末の活用を中心とした教員向けの研修について集合形式の研修会を実施し、その内容は参加者の各校に持ち帰り、各校の校内研修等に活かされたことから総合評価をAとしております。続きまして、18ページの30番をお願いいたします。情報モラル教育の推進につきまして、子どもたちがトラブルに巻き込まれないよう、「ケータイ・スマホ出前授業」を全小学校で実施するととも

に情報モラル教育プログラム推進に向け、適宜情報を提供したことから総合評価をAといたしました。スマートフォンは、多機能化が進み、所有率も高くなっていることから適切利用の徹底と学習の活用が図られるよう、情報モラル教育を通じて取り組んでまいります。21ページの36番をお願いいたします。給食残菜問題への取組につきまして、給食では献立に季節ごとの行事食や創意工夫などを取り入れる他、食の大切さを意識しておいしく楽しめるよう、食育の推進に努めましたが、残菜率の改善には至らなかったことから評価をCといたしました。残菜では、献立との関連や食習慣との関係など分析を進めるとともに改善に向け、学校そして家庭を交えた連携を図りながら取り組んでまいります。学校教育課に関する説明は、以上でございます。

【生涯学習課長】 それでは、生涯学習課に係る部分について、御説明をさせていただきます。28ページをお願いいたします。49番の学びを通したまちづくりの中の創年セミナーの件でございます。令和3年度につきましては、新型コロナウイルスの関係で様々なイベント等が実施できませんでした。なんとか実施できないものかいろいろと工夫をしたなかで、この創年セミナーについては、実施してほしいという要望がかなり強かったことから、その点も踏まえまして、例年ですと年間16回、募集人数も40名としていたところですが、令和3年度については、回数を10回、募集人数を20名として実施してまいりました。実績としましては、9回の開催で15名の方に参加をいただきまして、なんとか年間を通して創年セミナーを実施することができました。将来的にこのセミナーを通して、様々な講座の講師等になっていただけるようにこれからも進めていきたいと考えております。そういった点を踏まえて評価をAとさせていただきます。続きまして、37ページをお願いいたします。68番の郷土資料の展示でございます。こちらにつきましては、令和3年の4月から市立図書館の2階で藤崎牧士資料の約4,300点を中心に市が持っております約2万点の資料を展示する事業でございます。こちらに記載のとおり、市のホームページ等を通じてPRをして、当初の目標よりもより多くの方に御覧いただいて、富里の歴史というものを御理解いただけたものと考えております。そういった意味で評価をAとさせていただきました。続きまして38ページをお願いいたします。69番の旧岩崎家末廣別邸の公開でございます。こちらにつきましては、令和2年の12月から一般公開を始めたわけですが、令和3年度につきましては、交付金を活用しまして外構フェンス等の整備をしまして当初の目標よりもより多くの方に来場していただくことができました。岩崎

家の歴史、それからかつての末廣農場の歴史を先ほどの郷土資料の展示とともに、富里市民の方のみならず市外の方にも御理解と言いますか歴史を学んでいただけたと思っております。そういった点で評価をAとさせていただきますところでは。生涯学習課からは以上でございます。

【図書館長】図書館でございます。図書館の点検・評価について主なものについて御説明させていただきます。32ページを御覧いただければと思います。上段の57番の子ども向け事業の充実におけるブックトリップ事業の達成者割合についてでございますが、令和3年度目標といたしまして、40パーセントの目標値に対し、実績といたしまして44.2パーセントと目標を達成していることから評価をAとしております。これはブックトリップに参加しやすいようなクイズ形式での手法や、本を読んだ印としてスイカの塗り絵などの方法により少し楽しくなるような方法を取り入れたこと、読んで楽しくなるような本を選別することにより達成したものと考えております。今後も継続いたしまして、参加しやすい方法を取り入れていくようにしてまいりたいと思っております。次に下段の58番、学校図書室等への支援につきまして、幼稚園、こども園、小・中学校への本の団体貸出しにつきまして、令和3年度の目標が140団体、7,000冊に対し、実績といたしまして114団体、5,857冊となり評価としてはBとしております。これにつきましては、学校への定期便による貸出しが行われたところでございますが、園、学校からの要望による貸出しが少なく目標を下回ったものでございます。各学校からの要望に応えられるような資料の収集に努めるとともに要望があがるように努めてまいりたいと思っております。また、今後も学校連携として、学校への本の貸出しの増が行われることで利用がなされるように努めてまいりたいと思います。以上でございます。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑などがございましたらお願いいたします。

【委員】16ページの分類26、長期欠席者調査及び長欠担当者会議による早期対応についてですが、小学校、中学校ともに令和3年度の目標よりもかなり高いようですが、評価がBというのはどうかと思いました。

【参事兼学校教育課長】御指摘のとおり、これはBには足りていません。これは、指標も含めて来年について検討させてください。以上です。

【教育長】少し気になった点として、過去3年間の市平均とありますので、急激に増えるとか減るというのはあまりないのかなという気がします。

【委員】〇〇委員と同じ26番ですが、不登校の児童・生徒がすごく多いのですが、子どもたちの学習などは、しっかりと進められているのかこの数字を見ると心配になってしまいますが、どんな方法で行っていますか。

【参事兼学校教育課長】不登校の児童や生徒への学習ですが、タブレットが導入されたということで、各学校でタブレットの使用については、だいぶ働きかけはしています。使うようになった子もありますが、正直に言いますとあまり進んでいません。ただ単に具合が悪いとか調子が悪いということで休んでいる子どもというのは実は少なく、やはりいろいろなその子を取り巻く環境などいろいろなものが関係していて、それが原因となって学校に来ないというのが非常に多くて、例えば保護者の方にタブレットの使用をお願いしてもなかなか理解が得られなかったということもあります。ただ、私たちはタブレットを利用して学習したことについては、出席として認めるというようなルールを作っていますので、それを保護者の皆様に伝えながら、少しでもタブレットを使って学習してほしいということを伝えると同時に我々市の教職員は、放課後等に休んでいる子の自宅に足を運んで、昔ながらになります、プリントや学校で勉強したものを持っていくなどの努力をしていきます。以上になります。

【教育長】確かに富里市の場合、長期欠席の児童が多いというのは大変な状況です。ここでお知らせしておきますが、今年度、学校教育課では学力向上、そして長期欠席児童・生徒の対応、そして食育、この三つの大きな柱で目標を立てて対応しているところでございます。結果というのは、なかなかすぐには出ないと思いますが、学校教育課でしっかり対応していますので、今しばらく見守っていただければと考えております。

【委員】全体で77項目もある様々な事業を職員の皆様が本当に一所懸命取り組まれていることに敬意を表したいと思います。何箇所か質問させていただきます。はじめに5ページの分類4、「とみの国」検定の実施についてですが、年度目標が小・中学校それぞれ90パーセントのところ、実績が小学校78.6パーセント、中学校54.4パーセントということで、評価もBということで、目標よりもかなり低いと思いました。達成度を見ますと練習問題と検定問題を大幅に見直した。また重要度の高い内容の問題を出題したとありますが、どのような見直しをされたのでしょうか。教えていただければと思います。

【参事兼学校教育課長】「とみの国」検定の評価をBとしたのですが、これは少し高かったと思います。改善ということで、漢字や計算に絞って

今までやっていたところをなかなか成績が上がらないということで、テストなどに出てくる文章問題なども「とみの国」検定の中に入れてみようということで今年やっていますが、正直なところあまり評判は良くありません。なぜかという「とみの国」検定の委員の会議を私も参加して開いていますが、もしかすると今の富里の子どもたちにやらせなければいけないことでは無いのではと。ワークテストのような問題を抽出して大事なものを選んで、合格するようにやるというよりも富里の子どもたちは、その前の段階、基礎の部分が落ちてきてしまっているから問題ができないのであって、基礎を固めないのに、それを活かした問題はできないという声が出ています。次年度は大幅に問題を見直すということで、夏休みに集まって検討します。以上でございます。

【教育長】ほかにございますか。

【委員】それぞれ達成度、課題ということで各評価がありますが、達成度はこの結果に対してどの程度進んだか、また課題・改善点に関しては、その評価がAであれBであれ、次年度、より上を目指すということが書かれています。分類番号で質問させていただきます。そういうことを踏まえると12番のライフサポートファイルの活用、16番の学校図書館司書の配置による読書活動の推進、31番、ジョイント・スクール推進事業の充実のところですが、総合評価は難しいかと思いますが、その前提となる研修や回答を得たという実績に関しては、どれも計画値を達成しているということなので、この3点については、B評価ですが、Aでもいいと思います。それから7番の「英会話の日」推進事業の実施ですが、ここはA評価になっていますが、実施したか実施していないかということで考えると年間3回に対して2回、これは1回減っていると見るか、3分の1できなかったと見るか、私は後者だと思いますので、B評価だと思います。それと今回の評価でD評価は無いですが、C評価をされている中で新型コロナウイルス感染症予防・対策などの表現が多々ありますが、その中で、全体的な研修などはできなかったが、個々の対応する研修などの実績を残したものはそのままC評価で良いと思いますが、例えば5番の「富里市きょうざん塾」の実施、9番「ふるさと学習」に関する研修の実施、これらは実施されていないことと、次年度のための協議をした、準備をしたなどの実績を残せていないので、厳しいかもしれませんが、D評価だと思います。逆にD評価をしたことによって、来年度に向けて改善をしていくという考え方ができると思います。同じく、48番「とみっこ大学」の実施と歴史・文化学習、53番「とみさとザ・ワールドキッズ」&「英語ふれあいDay」推進事業の実施、73

番スポーツ・レクリエーション活動を中心とした生涯スポーツの普及、75番とみさとスポーツ健康フェスタの充実については、コロナで中止しましたというのは、厳しいかもしれませんが、D評価にするのが、適当ではないかと思います。これは、教育委員会の評価なので、少しずつはあるかもしれませんが、新型コロナウイルス感染症予防対策で教育委員会だけではなく、他の課でもかなり御苦労されたと思いますが、これは、欄外でもいいと思いますが、きちんと予防対策が行われて、クラスターが無かったとかそういった点は、別に評価されてもいいと思います。それから36番の給食残菜問題への取組に関して、確かに残菜としては、設定目標よりも上がっていますが、昨年度後半、残菜率だけではなく残食率ということにも注目してデータを取っていました。残菜率だけを見ていると欠席率の影響が出てきますので、残食率ならば出席している子どもたちがどれだけ食事をできているかということが注目できる。残食率の原因が、給食そのものに起因するのか、それ以外の理由なのか。それと残菜率と残食率の違いを把握することによって、欠席状況も把握できたと思います。そういうことも評価されるべきだと思います。これはCではなく、Bではいかがでしょうか。以上です。

【教育長】多岐にわたり、〇〇委員から総合評価の部分で御意見をいただきました。これに対して回答できることがあれば、お願いします。

【参事兼学校教育課長】指標や評価に整合性がない等の指摘がありました。我々自身も評価をつけるのに非常に困るものが多いです。こういった形の点検・評価にすると、何かしらの指標を設けなければならない。数字で表すと実施回数などになってしまうのですが、例えば、例でいうと12番のライフサポートファイルを活用させましょうといったときに、数字や指標で表せるものは何かと言えば、「やりなさい」、「使いなさい」と呼びかけるような研修を何回必ずやりますといったものでしか出せないと思います。この場合、回数はいつていますが、Bにしています。我々、担当の指導主事が、例えば特別支援学級の担任の所に行って、ライフサポートファイルの活用状況であるとか、それを本当に活かして使っているのかを見た時に、全員の職員ができているとは限らないです。使ってはいるが、使い方を間違えていたり、そういったことを教えていくこともあります。そうなってくると、指標として、数字としては出しましたが、内容の面では足りていないので、とてもAは付けられないということになります。それ以外にも我々は、子どもの内面を育てていくものなので、数字では計りきれないところがあります。数字としては、「何回やりました」、「いつまでにやりました」というものは出せます

が、実際に学校に関わって見ていくと、やりはしたが、「できているのか」、「できていないではないか」といったことが多いです。そういったジレンマを抱えながら、評価をつけていくので、担当の主観もだいぶ入ってしまうと思います。去年一年間やらせていただいて、当然点検というものはやらなければいけないということは分かっていますが、こういう形というのは、学校教育の指標として果たしてどうなのかと思います。当然、我々は数値の目標、学校にも3年間で県平均に絶対に追いつくようにするといった、到達の目標は示していますが、その途中の努力に関してはなかなか数字では計りきれないと思います。そういった点も踏まえて、今後指標も検討して、数字ではなく、文言で状況を報告して、今日来ていただいている外部の先生に判断していただくという方法もあると思います。そのように考えているところです。以上でございます。

【教育長】教育を数字で表すというのは、なかなか難しいことだと思います。ただ、〇〇委員の御指摘は、非常に分かりやすく、確かに数字で表せないものは、違った部分を標記してはどうかという御意見もあったかと思いますが、そのあたりを検討してまいりたいと考えております。

【委員】13ページの20番、学校教育の充実の市独自の教科指導員の充実についてですが、教科指導員の負担が非常に大きくて、その教科指導員が担任をしていれば、その担任が指導に出かけた時に、そのクラスが自習になったり、他の先生がカバーしたりというようなことがあると思うので、県の教育委員会の研修体制を使って、改善点に書いてあるように市の教科指導員は活用しなくてもいいのではないかという意見に賛成です。それとコロナ禍で、活動ができなかったという事業で、来年には是非実施してほしいという事業が、6ページ5番の「富里市きょうざん塾」と8ページ9番の「ふるさと学習」です。「きょうざん塾」は教育プランに4年度は中止と書かれていましたが、子どもたちの学力の底上げをするためにもとても良いことだと思うので、5年度は感染症が収まらなかったとしても、できるように工夫をして事業を実施していただきたいと思います。また、8ページの9番の「ふるさと学習」については、先生に対しての研修ですが、末廣農場など、現地で研修を受けることによって、先生方にもイメージを明確にした授業ができるのと思うので、実施していただきたいと思います。最後に、24ページの41番の「まちc o m i」の加入世帯数なのですが、97パーセントが実績として上がっていますが、3パーセントの人にはどのように伝えていくのか。また3パーセントの人はどのような人がいるのか、お聞きしたいです。

【参事兼学校教育課長】 3パーセントの方ですが、主に外国籍の方など、「まちc o m i」で送られてくる文面が読んで理解できない方がほとんどです。どこの学校も「まちc o m i」が届かない御家庭を把握しておりますので、緊急な連絡等はその学校のやり方で、例えばその方に電話をするなど、何かしらで伝える手段をとっているところです。

きょうどん塾ですが、令和4年度は見送ることが決定しておりますが、令和5年度は実施したいと考えております。先日、きょうどん塾の担当の方たちとお会いし、話をしましたが、令和5年度からは大きく形を変えていこうと話をしています。まだ詳しい事は決まらないのですが、今、3地区に分けて、かなり大きな行事になってしまい、非常に身動きがとりづらいので、これから各学校単位で実施できるように進めていきたいと考えております。あと、教材についても、委員御指摘のとおり、基礎基本が充実したものをきちんと作成して、みんなで取り組んでいきたいと考えております。

8ページ9番のふるさと学習についてですが、富里に新しく来た先生を中心に富里のことを理解してもらう目的で実施しているのですが、今年は感染症の影響でできなかったのですが、来年は今年赴任した先生も含めて実施したいと考えております。

次に教科指導員制度の件ですが、基本的に県で指定された教科指導員が中心となっており、市の教科指導員はあまり出番がありません。ただ、市の教科指導員としてお願いするということは、1つ目に教員のモチベーションの向上につながることで、2つ目に研修等があった時に相談に乗ってもらったり、その方が長けているものと知ってもらうことで、市内で研修があった時に非常に相談しやすくなるので、市の教科指導員制度は、いいことだと思っています。

【教育長】 そのほかに何かございますか。

【委員】 さきほど、鳥海課長から回答がありましたように、例えば分類12のライフサポートファイルの活用や、分類31のジョイント・スクール推進事業の充実等、指標としてあげるのは難しいというお話ですが、私もそのとおりだと思います。目標に対して実績は達成できているが、実際に中身はどうだろうと考えた時に、総合評価としてAはあげられないというのはよくわかりますので、指標プラス文言で具体的な説明をいただけると総合評価につながられると思いました。分類31のジョイント・スクールも、指標が意識調査で「学校が楽しい」と95.7パーセントが回答しており、大変素晴らしいと思うのですが、ジョイント・スクールの推進事業ということであると、小中連携や交流活動を積極的に

推進するとありますので、指標だけでは私も内容を把握できなかったの
で、文言等を入れていただけると、全く知らない人が見ても、評価の理
由が理解できるのではないかと思います。

次に分類４５の学校施設の整備の課題のところに、建築後４０年を超
える校舎が半数を占めるという記載がありました。半数というのはどう
いった学校が該当するのか、また長寿命化計画等について、どのように
なっているのか教えていただきたいです。

【教育総務課長】 分類４５の学校施設及び設備の修繕について、富里中学
校、南小学校、富里小学校、日吉台小学校、第一小学校の５校が築年数
で４０年を超える学校になります。こちらについては、当然、大規模改
造や耐震補強などを行ってきております。また長寿命化改良計画につい
ては、平成２９年３月に策定済です。しかし、計画通りに進んでいない
というのが現実です。どうしても長寿命化計画の前に緊急的に校舎、建
物の修繕をしなければならないことが発生しています。そういった時は、
緊急度を優先して行っています。また現在、今後の長寿命化計画の見直
しにあたり、校舎そのものを赤外線をつかって、中はどうなっているの
か検査を行っております。これに基づいて、優先的に修繕・改修をして
いかなければいけない校舎をしっかりと見極めた上で、長寿命化計画の見
直し作業を進めております。

【教育長】 全体的なことですが、コロナ禍ということもあり、数値で評価
するというのは、難しい項目があります。今後、その点もふまえ、文言
で説明できるような形を検討したいと考えています。
そのほかございますでしょうか。

（ない旨の声あり）

【教育長】 ほかにないようですので、協議事項１について、本日のご意見
をふまえ、事務局で整理させていただきます。

８ 報告事項

【教育長】 次に、報告事項に移ります。報告事項１、教育費に係る令和４
年度富里市一般会計予算（第４号）について、事務局の説明をお願いします。

【生涯学習課長】

（資料３１ページ、３２ページに沿って説明）

【教育長】 事務局の説明が終わりましたので、質疑などがございましたら
お願いします。

（ない旨の声あり）

【教育長】 ないようですので、これで報告事項 1 を終わりにします。

次に報告事項 2、富里市社会教育関係団体認定取り消しについて、事務局の説明をお願いいたします。

【生涯学習課長】

(資料 3 4 ページから 3 6 ページに沿って説明)

【教育長】 事務局の説明が終わりましたので、質疑などがございましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】 ないようですので、これで報告事項 2 を終わりにします。

次に報告事項 3、富里小学校放課後子ども教室モデル事業について、事務局の説明をお願いいたします。

【生涯学習課長】

(資料 3 7 ページから 4 0 ページに沿って説明)

【教育長】 事務局の説明が終わりましたので、質疑などがございましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】 ないようですので、これで報告事項 3 を終わりにします。

次に報告事項 4、富里市立図書館の愛称募集について、事務局の説明をお願いいたします。

【図書館長】

(資料 4 1 ページから 4 3 ページに沿って説明)

【教育長】 事務局の説明が終わりましたので、質疑などがございましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】 ないようですので、これで報告事項 4 を終わりにします。

次に報告事項 5、月例報告について、教育総務課長から順次説明をお願いします。

【教育総務課長】

(資料 4 4 ページに沿って説明)

【参事兼学校教育課長】

(資料 4 5 ページ、4 6 ページに沿って説明)

【学校給食センター所長】

(資料 4 7 ページから 5 0 ページに沿って説明)

【生涯学習課長】

(資料 5 1 ページから 5 3 ページに沿って説明)

【図書館長】

(資料 5 4 ページに沿って説明)

【教育長】ただいま、事務局から報告がございましたが、何か質疑等ありましたらお願いいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】ほかにないようですので、これで報告事項 5 を終わりにします。

9 その他

【教育長】次に、その他に移ります。その他として、なにかございましたらお願いします。

【生涯学習課長】

(市政 2 0 周年記念 T シャツについて案内)

【教育長】ほかに何かございますか。

【委員】梅雨が明けて、かなり気温が高くなっていますが、小中学校では、熱中症対策をどのようにしていますか。体育の授業や登下校、部活動のことをお聞かせください。

【参事兼学校教育課長】熱中症対策についてですが、毎日心配しています。まず、小学校ですが、熱中症アラートが出ている時には、休み時間も含め、外の活動を行わないようにしています。暑さ指数もありますので、暑さ指数も照らし合わせながら、外での活動を制限しています。次に中学校についても、できるだけ外での活動はしないようにしていますが、部活動等もありますので、時間等を各学校が工夫して、水分補給をしながら、短い時間で集中して取り組むようにしています。登下校の際ですが、特に小学校の低学年は重たい荷物を持って帰る中で、具合が悪くなることのないように、必要最低限の物をランドセルに入れて持ち帰るように各学校に指示しています。

【教育長】ほかに何かございますか。

(ない旨の声あり)

【教育長】ないようですので、その他を終わりにします。

次に、非公開事案に入ります。

≪非公開≫

1 0 閉会宣言

【教育長】それでは、本日の日程は全部終了しました。令和 4 年度第 4 回富里市教育委員会定例会議を閉会します。